

# 鎌倉広町の森市民協議会ニュース



発行：特定非営利活動法人 鎌倉広町の森市民協議会

理事長：家原義靖（0467-32-3033）、常任理事：森田邦彦（0467-32-1083）

ホームページアドレス：<http://www.hiromachinomori.org>

## 【実施設計の骨子まとまる（検討会の中間報告）】

昨年8月に市民協議会が立ち上げ、その後、5つの会に参加を呼びかけて8月まで行ってきた実施設計検討会の結果がまとまりましたので、その概要をご報告します。

- ① 基本構想から基本設計までについての修正事項
  - ・ 広町緑地の面的に保全・活用するA区域（Aゾーン）を一部の枝谷戸と樹林地で拡大。
  - ・ 市民の利用実態を踏まえて、基本設計の散策路の一部を変更。
- ② 実施設計作成に当たっての要望  
市民目線でコンパクトにまとめ、専門用語の使用を極力排除する。
- ③ 実施設計のポイント
  - ・ 「管理棟」に、作業所兼集会室、ジャワーと更衣室、収穫物の乾燥・一時保管場所を追加。
  - ・ 基本設計の課題「ストック池」は、これまでの活動実績と貴重動物の保全の視点で再設定。
  - ・ 「保全管理と活用」の具体的計画は、田んぼ、畑、森、自然観察および散策路の各会の活動の実績と成果を基に、具体的に設定する。

今後は、広く市民のみなさまのご意見とご要望を伺い、市担当部門と検討を進めてまいります。

## 【2011年度収穫祭を11月19日（土曜）に開催】

9月10日に開催した「5つの会・連絡会」の終了後、今年度の収穫祭第1回実行委員会を開き、実行委員長に畑の会世話人代表の黒川 弘さん（当協議会理事）を選出し、開催日を11月19日（雨天順延、20日）と決定しました。

それに先立つ5つの会・連絡会では、①収穫祭実行委員会の設置、②5つの会の共同作業、③農作物の放射線量の測定、④実施設計検討委員会の中間報告、⑤広町花図鑑の増刷、⑥5つの会ボランティアの市民公募、などを検討しました。

これを受けて、農作物の放射線量の測定は収穫祭前に、市民公募は「広報かまくら」で2月に行うことなど、市に依頼しました。

### <6~9月の各会への支援>

- ・ 田んぼの会：7,403円～塩ビパイプほか
- ・ 畑の会：7,016円～サツマイモ苗、防虫網など
- ・ 森の会：6,294円～ロープ
- ・ 共通：76,152円～刈払機修理、同機の刃、ガソリン100リットル、オイルなど

## 【8月以降の保全・維持管理活動】

### ● 「広町田んぼの会」

10月2日に催した稲刈り祭に、親子連れを中心にスタッフをふくめ、去年までの5回を上回る131人が参加しました。開始時のお願いに沿って、刈り、束ね、畦に運ぶまで、親子でやり遂げました。5枚の田んぼの稲を、入り口広場の「はさ＝稲架」に架け終わるのに、正午過ぎまでかかりましたが、去年の収穫米を粳のまま保存して作ったおにぎりが、親子を待っていました。稲は台風15号の強風で倒れましたが、去年並みに200キロの収穫が見込まれています。



稲を刈る子どもたち(図左)  
子どもたちも運搬(図中)  
さあ、おにぎりだ!(図右)

### ● 「広町畑の会」

8月は上中旬が夏休みのため、作業は2回でした。下旬には畑地全域に雑草が繁茂していて、「みどりの探偵団」など子供たちによるジャガイモ掘り(右図)も、まず除草から始まりました。9月に入り、ダイコンとソバの種まき、小豆の収穫のあとは、サツマイモの「つる返し」をかねた除草作業が今も続いています。下旬には、広場で藍(アイ)染め教室(4面に掲載)を開催し、畑地での藍の生葉の採取から染色までを約20人の参加者が楽しみました。



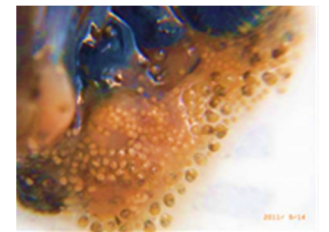
### ● 「広町森の会」

8月上旬の小竹ヶ谷の苗木畑の草取りと霊光寺裏の草刈り後は夏休みを取り、9月に入って、浄化センター裏の竹林整備と御所ヶ丘住宅地裏の植樹場所の草刈りをしました。8月には高校生5人がボランティアで参加し、9月の草刈りに、県の森林インストラクターの研修生、杉崎さん(右図)が研修の一環として、海老名市から参加しました。また、森の会の年次総会を開き、下期の作業計画や世話人の役割分担などを決めました。



### ● 「広町自然観察の会」

秋は動植物の繁殖や熟成の季節でもあります。ホタルの餌として知られているカワニナは、広町に広く生息する巻貝です。雌のカワニナから生まれた稚貝は約1mmで、1年後には成熟しますが、この間にホタルやサワガニなどの餌になることが多いです。写真は9月14日の調査で採取・撮影した雌カワニナの体内の保育囊に含まれた稚貝などで、約700個ありました。9月はホトケドジョウの分布調査を行い、多数の個体を観察することができました。



### ● 「広町散策路の会」

大桐と峯山分岐点間の新散策路づくりは、収穫祭までの完成をめざし、8月28日と9月11日の両日、アズマネザサ・ツタ切り、階段づくりや外周コース(御所川沿い及び小竹ヶ谷奥・御所ヶ丘住宅地裏・七里2丁目住宅地裏・七里展望台・ユリ広場)の草刈りを行いました。9月21日の大型台風で、散策路の随所で木やササ・竹が倒れ、路を塞ぐ被害が出ました。25日、ウサギ山の倒木11本の処理(右図)をしました。



## 【8～9月のトピックス】

### ● かまくら緑の探偵団～8月はお絵かきとジャガイモ収穫、9月は案山子作り

夏休み最後の日曜日、夜川けんたろう先生を迎えてお絵かき大会。畑にヒョウタンやヘチマ、山際にキツネノカミソリやミソハギが咲いていて、子どもたちは、それぞれの場所で描き始めました。

「キツネノカミソリの絵の具の鮮やかなオレンジ色、シャープな色鉛筆の花、いろいろな形のヒョウタン、ヘチマのグリーンの色合い、自然の中には、よく観察するといろいろ発見があり、楽しいですね」先生の講評（右図）で、何だか素晴らしく見えてくるから嬉しい♪



その後、畑の会にお願いして、春に植えたジャガイモ収穫の体験をしました。

（8月の参加者：子ども 17人 保護者 15人 世話人 7人）



9月は案山子作りです。十文字に組んだ竹と藁にそれぞれ用意してきた古着や布などを使って始めました。大きい子は友だち同士で、小さい子はお父さんお母さんと一緒に、工夫しながら出来上がってきました。藁の胴体はふっくらと立体感があり、洋服を着せるとボリューム感も。最後に「へのへのもへじ」の顔を描き、魔法の帽子など、8人8色の案山子が出来上がりました。

（9月の参加者：子ども 16人 大人参加者 9人 世話人 5人）

### ● 東 史華さんからの手紙

春から8月上旬まで、田んぼと畑の活動に熱心に参加した東 史華（あずま ふみか）さん（中2）から、便りが届きました。史華さんはご両親と8月中旬、シンガポールに転居し、現地のインターナショナルスクールで学んでいます。生徒数は約1,000人で、出身国は60カ国を超えていて、勉強のほか、孤児院児童との交友やカンボジア支援のクラブ活動で活躍しているとのこと。

#### ★ 広町で体験～東 史華 ★

春が終わる頃、広町を散歩していて掲示板で田植え祭りの案内を読み、興味を持ち参加したのが、私と田んぼの会、畑の会との出会いでした。田植えだけのつもりが、会の皆さんの魅力に引き込まれ、部活のない土・日に作業に参加。

畑では、種まき、鎌で麦刈り、古い機械を使って脱穀、ニンジン・ジャガイモ掘り、蒟蒻の根元を麦わらで覆う作業などを経験しました。畑には様々な可愛い生き物が沢山！田んぼでは、ため池での泥んこ作業、力が必要な土嚢作りなど、通常は大人が「だめ！」という作業ばかりを広町ではやらせてもらいました。

中学生になって毎週泥んこになれるとは思っていなかったのが、本当に嬉しかったです。田んぼの会、畑の会には、個性的な方が沢山いて、作業後のおやつや談話の時間も、とても楽しいひと時でした。昆虫や草花の名前をたくさん教えていただき、育て方のタイミングやコツも・・・。

学校で学べない多くのことを広町で学びました。

また、皆さんと広町で作業が出来る日を楽しみにしています。



## 【理事会の報告】

### 第 90 回理事会（8月6日）

#### ● 報告事項

- ① 各会の5月報告と6月計画（掲載記事との重複を除く）
  - ・ 田んぼの会 土用干しなど夏場の稲の生育の見守
  - ・ 畑の会 麦の脱穀と大豆の種まきのほかはひたすら草取り
  - ・ 森の会 植樹場所の草刈りに専念
  - ・ 自然観察の会 水質調査と探偵団の水辺の生き物調査を支援
  - ・ 散策路の会 倒木処理と新道づくり
- ② 各チームの5月活動
  - ・ パトロール 高校生と新任教師のボランティアの受け入れ
  - ・ 探偵団 水辺の生き物調査
  - ・ ホームページ 更新16回（過去最高）、月間アクセス数1,460件（いままでの2位）

#### ● 審議事項

- ① 5つの会による御所川の護岸工事個所と枝谷戸調査
- ② 実施設計検討の進捗と今後の展開

### 第 91 回理事会（9月3日）

#### ● 報告事項

- ① 御所川護岸工事を5つの会で検討し（8月6日）、市の現地立会いを実施（同16日）
- ② 各会の6月活動と7月活動計画
  - ・ 自然観察の会 広町花図鑑の増刷の検討
  - ・ 広町から学ぶ会 大勢の高校生ボランティアと小竹ヶ谷の川沿いの草刈り

#### ● 審議事項

- ① 5つの会による2011年の収穫祭と下期の共同作業を検討
- ② 5つの会・検討会の開催と審議内容を検討

## 【「藍染め教室」が開かれました。】

広町の畑で栽培した藍(アイ)の生葉を使った催しが、9月24日(土)午後、広場で畑の会と市民協議会の共催により開かれました。染色家の渡邊公子さん(協議会理事)の指導の下、参加者は各自、畑で藍草を刈り、青空の下で葉を加工して染色を楽しみました。藍染めは収穫時期、布地の種類、時間、温度など条件によって出来ばえが違い、参加者は自分の作品を手に満足そうでした。参加者数は児童を含めて約20人でした。



【編集後記】 中部地方に上陸した台風15号は、日本列島を縦断し、9月21日の夕方から夜半にかけて、関東地方を通過しました。広町の森では倒木が目立ちましたが、25日までに散策路の整備がほぼ終わりました。一方、田んぼでは、24日の定例作業日に、倒れた稲を起こし、畔の草刈りを終えて、無事、10月2日の稲刈り祭に漕ぎ着けました。(家原)